



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 12月
No.15



●今月の強調目標
キリスト教理解・IBC

●今月のことば
「今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。
この方こそ主メシアである」
ルカによる福音書2章11.12 大澤 祥子さん 選

今月の例会案内（第15回）

- 日時：2023年12月6日（水）18:30～20:30
- 会場：山梨YMCA
- 司会：米山 俊彦 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば・食前感謝 大澤 祥子さん
- ・ワイズディナー
- ・会員卓話「香港・チェンマイ・ジュネーブ」
藤原 一正 君
- ・ニコニコタイム・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo of monthly



香港でのアジア太平洋地域大会に参加した藤原会長は、その後チューリッヒで開催されたJCI国際会議に出席し、11月15日、ジュネーブのワイズ国際本部を訪問しました。

11月のデータ

会員数:12名 例会出席:7名
 メーキャップ:藤原 出席率:83%
 ゲスト:新谷淳一様(卓話者)・橋本晶子さん・鮎沢由紀子さん
 ニコニコ:4,000円(累計:22,200円)

ハッピーバースデー

メン 米山 俊彦 (12/12)
 土橋 順 (12/28)
 メネット 遠藤 愛 (12/5)

アニバーサリー

藤原一正・チョンラダー(12/18)

今月のことば 大澤 祥子さん
 皆さんは、ご自分が幼稚園の頃、あるいはお子様のクリスマス会で、この聖書の箇所を寸劇(ペイジェントと言いますが)をご覧になったことがあるかも知れません。これが最初のクリスマスだと聖書は伝えています。今ではクリスチャンの家庭でなくてもクリスマスはとてもポピュラーになりました。プレゼントやケーキを楽しみにしている子どもたちもいるでしょう。神様が私たちにイエス・キリストという方をプレゼントして下さったということから、お互いにプレゼントをするようになったとも言われています。
 私は中学生の時に恵泉女学園の創立者の河井道校長から聖書の話しを聞きました。これがキリスト教と出会った最初です。

●●●● 11月例会報告 ●●●●

渡邊 隆

やまなみクラブ11月例会はシャトレゼホテル談露館にて米山俊彦書記の進行で、藤原一正会長はアジア太平洋地域大会(香港)出席のため、松本公夫副会長の点鐘で開会された。開会の挨拶では松本副会長の長年のアフリカからの留学生のサポートで、特に山梨学院大学の箱根駅伝にかかわる留学生のサポートについて、「走る」事の実績が評価され、結果が出なければ帰国しなければならない厳しい環境の学生に心のサポートも含めた努力が披露されました。

ゲスト卓話では、令和6年4月より実施される「相続登記の義務化」について、行政書士新谷淳一様をお迎えし、今のうちから備えておくことの重要性を感じることが出来ました。なお、義務化される相続登記は3年以内に登記が行われないと10万円以下の過料が課せられるとのことでした。

福田奈里子さんから「今月のことば」の紹介、そして11/3(金)のYMCAバザーについて最終確認が行われ、中身の詰まった例会でした。

なお、元長野クラブメネット橋本晶子さんのご友人



11月例会ニコニコメッセージより

▼甲府やまなみワイズメンズクラブの例会に初めてゲストとして参加させていただきました。ゲスト卓話をさせていただき、皆様の雰囲気を感じ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございました。(ゲスト卓話者・新谷淳一様)

▼相続登記の義務化(令和6年4月1日から)の卓話がとても為になりました。(松本 公夫)

▼11月例会の活動報告を記録させていただきました。(渡邊 隆)

▼新谷さん、相続登記という関心の高いテーマについてお話し頂きありがとうございました。(米山俊彦)

▼いつになく活発な質疑回答タイムが面白かったです。(遠藤恭範)

▼毎回の例会の内容の充実ぶりにいつも驚かされます。日々勉強、、、(福田奈里子)

の鮎沢由紀子さんから紹介いただいた映画「車線変更」の開催に向けて、意見交換をすることが出来ました。映画の内容は「人は傷つくもの、人はつまづくもの、「障がい」があれば避けられればいい、誰かに助けを求めたっていい、人生はいつだって“車線変更”していいのだから」とあります。

出席者:松本・米山・遠藤・大澤・仙洞田・福田・渡邊、ゲスト:新谷淳一さん・橋本晶子さん・鮎沢由紀子さん

▼第63回山梨YMCAチャリティーバザー 仙洞田安宏

今年で63回目となる山梨YMCAチャリティーバザーが、11月3日(金・文化の日)、山梨YMCAグローバルコミュニティーセンターで開催されました。今年も好天に恵まれた一日でした。

やまなみクラブは新しい企画の「国際屋台村」の一角を担い、タイコーヒー・メロンパン・フランクフルト、それに松本会員の紹介の台湾ビーフンを担当しました。同じく新企画で、甲府一高吹奏楽部やチアアップやまなしのグループが出演して賑やかだったこともあり、それが売上にも好影響を与え、担当した部署は大忙しでした。11月10日に開かれた反省会での報告によると、バザー全体の売り上げは経費を除いても100万円の大台に達したとのこと、成功裡に終えることができましたと言えます。

やまなみからは、藤原会長がアジア太平洋地域大会への出席と、また他の会員も仕事と重なったため、大澤・松本・仙洞田の3人が奉仕しました。

なお、前々日の11月1日には、遠藤恭範会員の会社の皆さんで、びっくり市用の大型テント張りとは、YMCAタレントショーのためのステージ設営をした他、前日は各ブースのテント設営に松本、仙洞田がお手伝いしました。



【国際色豊かなやまなみ担当のブース】

▼アジア太平洋地域大会 IN 香港

藤原 一正

11月2日から5日までワイズメンズアジア太平洋地域大会IN香港に参加いたしました。初めての国際大会は3日間にわたり、非常に楽しかったです。

1日目は開会式典とディナーで始まりました。各エリアから100名以上の方が集まり、フラッグの行進から始まり、開会式典、様々なエンターテイメントが披露されました。今回はじめて同時通訳のお役目をいただき、無線での同時通訳機を利用して日本人参加者に通訳をいたしました。なかなか資料がない中で、同時通訳は難しく、できる限りになってしまいましたが、現地の式典や会議の内容を日本の方にお届けした程度しかできませんでしたが、私にとっては初めての経験でよい機会となりました。



2日目のエクスカージョンは、3つのグループに分かれてそれぞれが違った地域に参りました。私は香港の中心部から車で1時間ほどの港町から船に乗り、香港YMCAの一つの島のキャンプ施設を視察しました。いくつもの宿泊棟と会議施設や体育館、キャンプファイヤーができる施設などが整備された場所で、子どものキャンプから最近では大人の方々

も使う方がいるとのことでした。

3日目は様々な報告と、今後のイベントの紹介、ユースの発表などの会議がなされました。そこでも同時通訳を行いました。フラッグの退場があり、閉会式典で大会が終了しました。

3日間にわたる大会で非常に楽しく過ごすことができました。今後も機会があればこのような国際会議に参加したいと思います。

▼アジアに学ぶタベ -PHD 協会のお話と AYC 報告に参加して

松本 公夫

10月31日(火)18時30分から山梨YMCAにおいて、PHD協会招へいの東南アジアから2名の女性の体験談等が報告されました。二人は来年3月迄研修を受け帰国予定となっております。

- ①インドネシアからの助産師アギーさん、(助産と栄養管理)等を学んでいます。
- ②ミャンマーからの児童労働教育者、(手芸品、栄養学、応急手当の技術)等を学んでいます。

二人の感想として、母国と違い日本の技術等の素晴らしさに驚くことばかりですが、残る期間も一生懸命

命学び、帰国後は学んだ技術等を生かして母国地域に貢献したいと力強く話しておりました。

昔ですが、私はJICA海外協力隊としてケニアに派遣6年活動してきましたが、途上国の皆さんは何処でも同じで一生涯懸命勉強していました。

③YMCA職員の風間奈月さん、8月アジア太平洋地区ワイズメンズクラブ主催のユースコンボケーションに参加した体験談等を報告されました。

今後研修で受けた違う角度から見たノウハウを山梨YMCAにも生かして少しでも改善し導入できるよう努力していく所存ですと報告されました。

〈PHD協会について〉

1962年からネパールを中心に約20年間海外で医療活動に従事してきた岩村昇医師が、自らの活動経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一時的援助を越えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱して1981年に設立された組織で、アジア・南太平洋地域からの研修生の招聘、研修後のフォローアップを通して、草の根の人々による自立した村づくりと生活向上に協力することや、日本の人々もアジア、南太平洋地域の人々との交流を通して学ぶことを目的としています。



温故知新～史料室の書棚から

先月に続き、1988年5月29日に行われた甲府クラブの役員研修会での講演録「わたしの夢見るワイズメンズクラブ」を掲載します。

「わたしの夢見るワイズメンズクラブ」

一異質の中の同質に学ぶ―第2回

布能 寿英

3. ワイズメンズ・クラブの特徴

まず第一のワイズメンズ・クラブの特徴は、〈一業種二会員側〉であり、さらに、メネット、コメットを包含したクラブ組織にある。この〈一業種二会員制〉の意味するものは、この地域社会での少数の職業別による親睦のエネルギーを、他の団体ではその例をみることでできない形態で、社会と人々のために創り出していけることにあると申せよう。そして結果として、自分のたずさわっている企業及び家庭が、この自由競争で貫かれている社会にあって、より一層充実した生活へと、発展が約束されていくことになると思う。

その時ワイズメンズ・クラブでは、保守的に自分を守っていかうとして行ったことでもなく、又クラブがそのような目的で創られたものでもないにも拘らず、この〈一業種二会員制〉そして、さらにメネット、コメットをも包み込んでいくワイズファミリー会員制による功德は、結果として自分自身に帰着していく各人の体験によって、知らず知らずのうちに「奉仕の心」が植えつけられ、さらに見えざる創造主の大きな力によって、いま生かされている感謝と歓びへと進展していく、このことが実にワイズメンが他の多くの奉仕クラブと本質を異にする特徴であると思うのである。

第二の特徴は、〈YMCAにいつも変らざる忠誠〉貫いていることである。このYMCAへの忠誠心が強く謳われていることは、他の一般的社会奉仕クラブにない素晴らしい特徴であることを私は強調したい。

(編集者註:これ以降、6章まで落丁)

6. 「友情と信頼」のメンバーシップ

ワイズメンズ・クラブは、YMCAを中心とした同志の集まりであるから、お互いの共通認識、さらには共存意識を大切にして、かりそめにも本質的、基本的問題で、それに反することはすべきではないと考える。

よく言われることばに、「同じ穴のむじな」がありますが、このことばの如く、いつも共同理解をくずすことなく運営されることによって、知らず知らずのうちに会員相互の「友情と信頼」が築かれていくものと思われる。

しかも、良質の会員という同質と、〈一業種二会員制〉とは申せ、職業別という異質の職業体験が、交錯しつつじょう成されていくエネルギーは、極めて高度のものであって、このことがワイズメン固有の「友情と信頼」に、裏打ちされたメンバーシップを作っていくのである。

▼大澤英二召天3周年記念講演会 山梨YMCA 史料展示室オープニングセレモニー

11月11日(土)、故大澤英二さんの召天3周年記念講演会と山梨YMCA史料展示室のオープニングセレモニーが、山梨YMCAの大澤英二記念ホールベテルで開催されました。2020年11月に大澤さんが亡くなられて早3年が経ちました。3回目となる記念講演会は、現東日本区理事の山田公平さんの「これからのYMCA運動を問う」というお話で、山田さんの



YMCAでの豊富な経験をもとに、過去のアンケートなどのデータなども参照しながら、YMCA運動の未来への方向性について語られました。

また、昨年講演をしていただいた齊藤実さんも出席され、山梨YMCA史料展示室のオープンに祝いのメッセージをいただきました。その後、史料展示室のお披露目があり、散会となりました。参加者は75名、やまなみからは、大澤、松本、渡辺、仙洞田の4人でした。

(報告・仙洞田安宏)

おことわり

山梨YMCA 中田純子総主事のコラムは、別途会員にメールで配信します。

今後の予定

✓12月5日(火)～17日(日)

まちかどの近代建築写真展(北口・藤村記念館)

✓12月20日(水)

クラブ役員会(山梨YMCA)

✓1月8日(月・祝)

第13回お正月を遊ぼう(北口・よっちゃばれ広場)

✓1月9日(火)

4クラブ新年合同例会(シャトレゼホテル談露館)

✓2月7日(水)

2月TOF例会(山梨YMCA)

✓2月10日(土)

あずさ部第2回評議会(高尾の森わくわくビレッジ)